

## 豚舎構造の違いによる肥育試験

## 第2報 夏期におけるケージ肥育試験について

大和碩哉・島富 修・坂井 巧

(福岡県種畜場)

YAMATO, H., SHIMATOMI, O. and SAKAI, T.

The Effect of the Difference of the Piggery on Growing and Finishing Pig.

## 2. Feeding Trial of the Cage in Summer Season.

## はじめに

第1報で畜舎構造の相違(平飼い, スノコ, ケージ)による肥育試験(飼料は制限給与)について報告した。その結果, ケージ肥育は運動量が少ないためか飼料摂取量は少なかったが, 1日平均増体重と飼料要求率は平飼い, スノコよりすぐれる傾向にあった。またケージ肥育の場合, 肥育後期が夏期にあたると, 暑熱の影響により食欲が低下する。従ってケージ飼育においては夏期の防暑対策が必要と考えるが, 本試験ではまず防暑対策を講じてない開放式豚舎におけるケージ肥育豚の採食量と発育ならびにと体成績を知るための試験を実施した。

## 1. 材料および方法

1) 試験区分及び供試頭数…試験区は平飼区とケージ区の2区とし, 供試頭数はランドレース種各区分7頭とした。

2) 試験期間…昭和50年6月9日～9月28日

3) 飼料及び飼料給与…飼料は新豚産肉能力検定飼料を自由給飼し, 水は自由飲水とした。

## 2. 結果および考察

1) 発育—1日平均増体重は平飼区の $628 \pm 77$ gに対し, ケージ区は $588 \pm 57$ gと悪くなった。これは夏期において開放式ケージ豚舎の場合, 輻射熱のためか舎内の最高気温が $35.2^\circ\text{C}$ で平飼区に比し $1.3^\circ\text{C}$ 高く暑熱の影響が強く表われたものと考えられる。

2) 飼料の利用性—飼料摂取量は表1に示すとおりである。1日1頭当たり, 前期では平飼区は1.42kg(100

%), ケージ区は1.59kg(112%)とケージ区が多いが, 後期は2.04kg(8.5%)とケージ区は逆に摂取量が少なくなった。これが後期に発育遅延をきたした原因であると考えられる。全期間ではケージ区は209.5kg, 平飼区は210.6kgと差は認められなかった。飼料要求率も両区ともに3.2で同じ値となった。

3) 産肉性—枝肉歩留はケージ区の場合, 内臓重量が10.3kgと平飼区の10.9kgに比べ少なかったため約2%高くなった。これは第1報においても同じ結果を示した。背脂肪の厚さ(平均)はケージ区で2.9cm, 平飼区で2.8cmと両区間に差はなかった。ロース断面積はケージ区の $20.0\text{cm}^2$ に対し, 平飼区は $17.2\text{cm}^2$ と5%水準で有意な差が認められた。

## 3. 要 約

1) 夏期における開放式ケージ肥育豚舎における肥育豚の飼料摂取量は肥育前期において平均 $1.42\text{kg}$ で暑熱の影響はほとんどみられなかったが, 肥育後期は高温の影響が大きく $2.04\text{kg}$ で平飼いに比し15%少なかった。

2) 発育は肥育前期は良好であったが, 後期は飼料摂取量が平飼いに比して少ないため, 90kg到達日齢は平飼いより7日間遅延した。このことからケージ飼育は夏期における防暑対策が必要と考える。

3) と体成績では背脂肪の厚さは両区に差は認められなかったが, 枝肉歩留, ロース断面積はケージ区の方が良好であった。

表 1 体重別飼料摂取量(kg/1頭/1日)

(前期)

区分 \ 体重	26kg	29kg	33kg	38kg	42kg	46kg	平均
ケージ区	1.27 (104)	1.48 (104)	1.14 (89.8)	1.81 (92.8)	1.74 (92.8)	2.09 (131.6)	1.59 (112)
平飼区	1.22 (100)	1.43 (100)	1.27 (100)	1.95 (100)	1.07 (100)	1.60 (100)	1.42 (100)

(後期)

区分 \ 体重	50kg	54kg	58kg	63kg	67kg	71kg	77kg	82kg	89kg	平均
ケージ区	1.61 (77.4)	1.43 (74.4)	2.00 (93.0)	1.97 (90.0)	1.94 (84.3)	3.01 (119.4)	1.93 (71.9)	2.21 (89.5)	2.27 (67.8)	2.04 (85.0)
平飼区	2.08 (100)	1.92 (100)	2.15 (100)	2.19 (100)	2.30 (100)	2.51 (100)	2.69 (100)	2.45 (100)	3.35 (100)	2.40 (100)